

神経精神科

(1) スタッフ (令和2年(2020年)3月31日現在)

主任部長：山岸 洋
部長：高木 賢一
副部長：坪倉 誠
医師：岩崎 明日香
医師：波多腰 桃子
応援医師：丸山 千佳
応援医師：深尾 憲二郎
臨床心理士：吉岡 千波

(2) 診療体制と特徴

1. うつ病などの気分障害や神経症圏の病態を中心に、統合失調症や症状性・器質性精神障害なども含む精神疾患全般の診療を行なっている。平成17年7月より神経精神科外来では、初診の完全予約制を実施している。これによって、外来新患に対するより綿密な診断とより上質な治療導入過程が実現されることを目指している。

2. 平成18年度までは54床の精神科病棟において開放的な環境の中で幅広い精神疾患の入院治療を行なってきたが、平成19年春より病床数を変更し、届出病床数20床とした。開放病棟の枠組みは維持して、わが国の総合病院精神科病棟の中でも最良質の精神療法的環境を提供できる病棟を目指す。平成22年度は診療報酬改定により、算定基準の変更のため15:1入院基本料を算定することとなった。なお平成25年2月28日に届出病床数を20床から12床に削減した。

3. MRI・CT・脳波や知能テスト・心理テストなど各種検査を通じて、身体と心理の両面から精神疾患にアプローチし、診断に役立てている。

4. 必要に応じて、臨床心理士によるカウンセリングを行ない、治療に役立てている。

5. 精神保健福祉士が相談に応じており、医療面で利用できる制度や社会資源の紹介を行なっている。保健センターや作業所などとも密接に連携し、患者の早期社会復帰を目指している。

6. 入院統計：

神経精神科が入院担当した今年度入院患者（2019年4月1日から2020年3月31日までの期間に新たに入院した患者）のべ数は60名（男性7名、女性53名）（昨年度は69名、一昨年度は70名）であった。その疾患別内訳は、気分障害圏（F3）が37名（62%）、統合失調症・統合失調症型障害及び妄想性障害（F2）が12名（20%）、神経症性障害・ストレス関連障害及び身体表現性障害（F4）が9名（15%）、などとなっている。

14西病棟（精神科病床）入院患者の今年度の年間在院延日数は2592（昨年度3061、一昨年度3438）（なお今年度の年間入院延日数は2653）、年間入退院数は121（昨年度139、一昨年度141）で、平均在院日数は42.8日（昨年度44.0日、一昨年度48.8日）であった。

3061（昨年度3438、一昨年度3479）（なお今年度の年間入院延日数は3132）、年間入退院

数は139（昨年度141、一昨年度188）で、平均在院日数は44.0日（昨年度48.8日、一昨年度37.0日）であった。

7. 外来統計

神経精神科の今年度外来患者のべ数（初診および再診の合計）は9767名（昨年度10403、一昨年度10375）、今年度病院営業日数は270日であり、1日あたり外来受診数は36.2名（昨年度38.7名、一昨年度37.6名）であった。また今年度外来初診総数は347名（昨年度378名、一昨年度288名）であった。

臨床心理士によるカウンセリングは月平均68回（昨年度月平均72回）、同じく心理検査は年間総数156件、うち能力検査113件、その他43件（昨年度は年間総数129件、うち能力検査96件、その他33件）が行なわれた。

（3）主な院外活動

大阪精神科懇話会を年1～2回共催し、精神科領域のエキスパートを講師に招いている。

第75回大阪精神科懇話会

日時：令和元年11月30日（土）18:00～

場所：ヴィアーレ大阪（大阪市中央区）

講師：生田孝先生（社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 顧問）

講演演題：「日本の憂鬱——日本精神分析の夜明けと陰」

（4）研究

学会発表：

山岸洋：マルティン・ルターーの病跡学 — 人間学と病理学の交錯する地点. 第66回日本病跡学会総会, 2019.7.6, 京都府.

山岸洋：C. W. Ideler の学問的先見性. 第23回日本精神医学史学会大会, 2019.10.26, 岡山県.

論文発表：

（原著）

山岸洋：モデルとしての感情論理 (Ciompi). 精神科治療学 34(10), 1149-1152, 2019.

著書：

高木賢一：検査法. In：子安増生（監修），村井俊哉（編集），野間俊一（編集）：公認心理師のための精神医学 — 精神疾患とその治療, p.141-153. 金芳堂, 京都, 2020.

高木賢一：身体症状症. In：宮地良樹（総編集）：各科スペシャリストが伝授 — 内科医が知っておくべき疾患 102, p.130-131. 中山書店, 東京, 2020.

波多腰桃子：むずむず脚症候群, その他の睡眠関連障害治療薬. In：杉田尚子・諏訪太郎（編集），村井俊哉（監修）：精神科の薬 — 抗精神病薬・抗うつ薬・睡眠薬・抗認知症薬・・・はや調ベノート, p.216-225. メディカ出版, 大阪, 2020.